



自然観察指導の基本と自然環境の保全

目的：本コースでは、すでに自分の自然観察フィールドを持っている人を対象として、日頃から自然観察を実践している現場での実習を通して、自然観察の基本を習得させ、自然観察の指導者を育成する。















担当教員からのコメント

● 本コースは、自然観察方法の習得と観察指導について行ってきた。受講市民が非常に熱心で、植物、昆虫、菌類および土壌について学んできたことと思っている。本コースを開講して、大学と市民との協働を学ばせていただいた。これからも、さらに開かれた大学として、自然観察や環境保全活動を通じて、地域との連携を推進していければと感じている。（田村憲司）

● 私が担当した実習には環境科学研究科とつくば市が行っている「環境マイスタープログラム」参加者が受講しており、昨年度受講生も加わって自然環境への感心の高さが伺えた。きちんとした講義・実習の提供に心がけなければいけないと痛感した。また、実習当日は遊歩道の一部が通行規制されており、幸い予定の変更には至らなかったものの、実習での下見の重要性も痛感した。歩き終えた受講生から山や自然に関わるいろいろな話を聞くと、これからも機会があればこのような市民を対象とした野外実習を行っていきたいと思っている。（上條隆志）

● 私が担当した実習では、キノコや病気にかかった植物体などの試料を、受講生と一緒に採取して顕微鏡で観察した。市民は、最初は何をどのように採ればいいかと戸惑いがあったようであるが、実際に一つを採ると次々と違うキノコを見つけ、受講生が真剣に採取したり、感動したりする様子を見て、「実際に手に取って観る」ということの大切さを改めて気づかせていただいた。（阿部淳一）